

(案)

1,3-ジクロロプロペン (D-D)

農薬蜜蜂影響評価書

2024年6月5日

農業資材審議会農薬分科会

農薬蜜蜂影響評価部会

目 次

<経緯>	1
<農薬蜜蜂影響評価部会委員名簿>（第 13 回）	1
I. 評価対象農薬の概要	2
1. 有効成分の概要	2
2. 有効成分の物理的・化学的性状	3
3. 申請に係る情報	5
4. 作用機作	5
5. 適用病害虫の範囲及び使用方法（8 製剤、別添参照）	6
II. ミツバチに対する安全性に係る試験	7
III. 暴露量の推計	8
IV. リスク評価結果	8
V. 毒性の強さから付される注意事項	8
評価資料	8

<経緯>

令和 4 年（2022年） 12 月 14 日 農業資材審議会への諮問

令和 6 年（2024年） 6 月 5 日 農業資材審議会農薬蜜蜂影響評価部会
（第 13 回）

<農薬蜜蜂影響評価部会委員名簿>（第 13 回）

（委員）

五箇 公一

與語 靖洋

（臨時委員）

山本 幸洋

（専門委員）

永井 孝志

中村 純

横井 智之

1,3-ジクロロプロペン(D-D)

I. 評価対象農薬の概要

1. 有効成分の概要

- | | | |
|-----|----------|--|
| 1.1 | 申請者 | ダウ・ケミカル日本株式会社
アグロ カネショウ株式会社 |
| 1.2 | 登録名 | D-D
1,3-ジクロロプロペン |
| 1.3 | 一般名 | 1,3-dichloropropene (ISO) |
| 1.4 | 化学名 | |
| | IUPAC名 : | (EZ)-1,3-dichloropropene |
| | CAS名 : | 1,3-dichloro-1-propene
(CAS No. 542-75-6) |
| 1.5 | コード番号 | XRM-5048、M3993、Telone II、Trans-D、テロン92 |

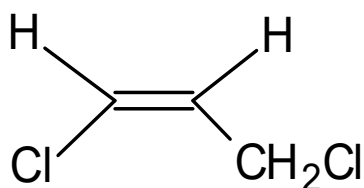
1.6 分子式、構造式、分子量

分子式

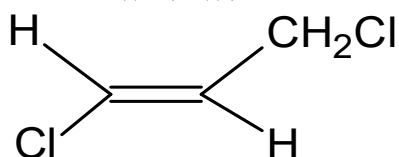
$C_3H_4Cl_2$

構造式

シス体 (Z-体)



トランス体 (E-体)



分子量

110.96

2. 有効成分の物理的・化学的性状

(1) シス体 (Z-体)

試験項目			純度(%)	試験方法	試験結果
色調・形状			—	色調：JISZ8723に準ずる 形状：官能法	淡黄褐色澄明液体
臭気			—	官能法	特異的刺激臭
融点			98.1	OECD102	-85 °C
沸点			98.1	OECD 103	103.8～105.2 °C
密度			98.1	OECD 109	1.221 g/cm ³ (23 °C)
蒸気圧			98.1	OECD 104	4850 Pa (25 °C)
熱安定性			98.9	OECD 113	150 °Cまで安定
溶解度	水		98.1	OECD 105	2.45 g/L (20 °C)
	有機溶媒	ヘプタン	98.9	OECD 105	>610 g/kg (19 °C)
		キシレン			>551 g/kg (19 °C)
		アセトン			>589 g/kg (19 °C)
		メタノール			>599 g/kg (19 °C)
		1-オクタノール			>545 g/kg (19 °C)
		1,2-ジクロロエタン			>479 g/kg (19 °C)
		酢酸エチル			>533 g/kg (19 °C)
解離定数 (pK _a)				解離しないため試験省略	
1-オクタノール／水分配係数 (log P _{ow})		98.1	OECD 107	1.82 (20 °C)	
加水分解性		97.04* ¹	—	半減期 11.3 日 (20 °C、pH 5、pH 7 及び pH 9)	
水中光分解性		99* ²	EPA161-2	半減期 5.7 日 (pH 7 滅菌緩衝液、25±1 °C、北緯 40 度の夏の自然太	

試験項目	純度(%)	試験方法	試験結果		
			陽光の約 88 %程度の光強度)		
紫外可視吸収 (UV/VIS) スペクトル	98.1		極大吸収波長 (nm)	吸光度	モル吸光係数 (L mol ⁻¹ cm ⁻¹)
			中性		
			202	0.915	4741
			酸性		
			203	0.851	4409
			アルカリ性		
			209	0.515	2668

*1：シス-トランス混合物（異性体比：シス体 60 %、トランス体 40 %）

*2：シス-トランス混合物（異性体比不明）

—：報告書に記載なし

（２）トランス体（E-体）

試験項目			純度(%)	試験方法	試験結果
色調・形状			—	色調：JISZ8723に 準ずる 形状：官能法	淡黄褐色澄明液体
臭気			—	官能法	特異的刺激臭
融点			97.8	OECD102	-25 ℃
沸点			97.8	OECD 103	114.5 ℃
密度			97.8	OECD 109	1.23 g/ cm ³ (24 ℃)
蒸気圧			97.8	OECD 104	2982 Pa (25 ℃)
熱安定性			97.8	OECD 113	150 ℃まで安定
溶解度	水		97.8	OECD 105	2.52 g/L (20 ℃)
	有機溶媒	ヘプタン	97.8	OECD 105	>607 g/kg (19 ℃)
		キシレン			>551 g/kg (19 ℃)
		アセトン			>597 g/kg (19 ℃)
		メタノール			>587 g/kg (19 ℃)
		1-オクタノール			>584 g/kg (19 ℃)
		ジクロロメタン			>458 g/kg (19 ℃)
		酢酸エチル			>544 g/kg (19 ℃)
	解離定数 (pK _a)				
1-オクタノール／水分配係数 (log P _{ow})			97.8	OECD 117	2.1 (30 ℃)
加水分解性			97.04* ¹	—	半減期 11.3 日 (20 ℃、pH 5、pH 7 及び pH 9)
水中光分解性			99* ²	EPA161-2	半減期 5.7 日 (pH 7 滅菌緩衝液、25±1 ℃、北緯 40 度の夏の自然 太陽光の約 88 %程度の光強度)

試験項目	純度(%)	試験方法	試験結果		
紫外可視吸収 (UV/VIS) スペクトル	97.8		極大吸収波長 (nm)	吸光度	モル吸光係数 (L mol ⁻¹ cm ⁻¹)
			中性		
			201	0.855	7220
			酸性		
			204	0.816	8520
			アルカリ性		
			267*	0.525	51
			*: 被験物質の加水分解物によるものと考えられる。		

*1：シス-トランス混合物（異性体比：シス体 60 %、トランス体 40 %）

*2：シス-トランス混合物（異性体比不明）

—：報告書に記載なし

3. 申請に係る情報

1,3-ジクロロプロペン（D-D）は、2023 年現在、米国、豪州、カナダ等複数の国で登録されている。

4. 作用機作

1,3-ジクロロプロペン（D-D）は、線虫の酵素の求核反応の中心（スルフヒドリル基、アミノ基、水酸基などのグループ）と化学結合することにより酵素活性を阻害すると考えられている。

（IRAC 分類：8 A）

※参照：[https:// irac-online.org /](https://irac-online.org/)

5. 適用病害虫の範囲及び使用方法（8 製剤、別添参照）

- ディ・トラペックス油剤
（メチルイソチオシアネート 20.0 %・D-D 40.0 %油剤）
- カヤクダブルストッパー
（クロルピクリン 35.0 %・D-D 60.0 %くん蒸剤）
- 旭 D-D 及び D-D
（D-D 97.0 %剤）
- DC 油剤
（D-D 97.0 %剤）
- テロン
（D-D 97.0 %剤）
- ソイリーン及び三井ソイリーン
（クロルピクリン 41.5 %・D-D 54.5 %くん蒸剤）

II. ミツバチに対する安全性に係る試験

本剤は裸地ほ場に処理し、一定の期間土壌くん蒸した後、薬害防止の観点から十分なガス抜き期間を経た後には種または定植する。このため、ガス抜き期間を終えるまでの間（本剤が土壌から揮散消失するまでの間）、本剤を処理したほ場に作物は栽培されておらず、ミツバチの飛来を誘発する要因（開花）はないことからミツバチが接触暴露するおそれはないと考えられる。

また、本剤を有効成分とする製剤に登録のある作物における作物残留試験の結果はすべて定量限界未満であり、作物体中への残留が認められていないことから、開花後の作物の花粉・花蜜中にも残留せず、ミツバチが経口暴露するおそれはないと考えられる。

さらに、本剤は蒸気圧が高く、ミツバチへの接触毒性試験、経口毒性試験を実施したとしても適切に暴露させることができず、毒性値を求めることが困難である。

以上から、本剤においてはミツバチに対する安全性に係る試験は提出されていない。

なお、審議の対象となる本剤のミツバチに対する毒性に関する公表文献も認められなかった。

（参考）公表文献の検索結果（資料 2， 3）
（生活環境動植物及び家畜に対する毒性に関する分野）

データベース名: ①Web of Science (Core Collection)
②J-stage
③STN Toxicology Database Cluster, Dialog
検索対象期間: ①2014年8月26日から2021年7月3日
②2006年7月4日から2021年7月3日
③2004年1月1日から2014年8月25日

「生活環境動植物及び家畜に対する毒性に関する分野」に該当する文献	42
----------------------------------	----



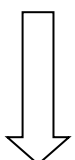
【表題と概要に基づく適合性の有無の評価】
明らかに評価の目的と適合しない文献の除外

「適合性なし」以外の文献数	14
---------------	----



【全文に基づく適合性の有無の評価】
評価の目的と適合しない文献の除外

「適合性あり」の文献数	2
-------------	---



【適合性の分類】
分類基準を設定して全文をレビューし、評価目的への適合性を
a、b、c の3つの区分に分類
区分a；リスク評価パラメーターを設定又は見直すために利用可能と判断される文献
区分b；リスク評価パラメーターを設定する際の補足データとして利用が可能と想定される文献
区分c； a又はbに分類されない文献

「区分a」及び「区分b」に分類された文献数	a	b
	2	0



試験生物として「セイヨウミツバチ (*Apis mellifera*)」
を用いている

「区分a」及び「区分b」に分類された文献数	a	b
	0	0

Ⅲ. 暴露量の推計

Ⅱ. に記載の理由により、その使用にあたり本剤にミツバチが暴露しないと想定される。

Ⅳ. リスク評価結果

1,3-ジクロロプロペン（D-D）は、申請された適用方法に基づき使用される限りにおいて、ミツバチの群の維持に支障を及ぼすおそれはないと考えられる。

Ⅴ. 毒性の強さから付される注意事項

本剤の用途は殺虫剤であり、殺虫活性を有する。本剤の作用機作及び適用害虫の範囲から、ミツバチに対する毒性は強いと考えられ、また、本剤の物理的・化学的性状から、巣箱周辺での使用に係る注意事項を要する。

評価資料

資料 番号	報告年	題名、出典（試験施設以外の場合） 試験施設、報告書番号 GLP 適合状況（必要な場合）、公表の有無	提出者
1	2022	1,3-ジクロロプロペン 試験成績の概要及び考察 未公表	ダウ・ケミカル 日本(株)
2	2022	公表文献に関する報告書 有効成分名：1,3-ジクロロプロペン（D-D） 公表 URL: https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/saihyoka/kouhyoubunken.html	ダウ・ケミカル 日本(株)
3	2023	公表文献調査報告書 1,3-ジクロロプロペン（追補） 公表 URL: https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/saihyoka/kouhyoubunken.html	農林水産省

別添：適用病害虫の範囲及び使用方法（1，3－ジクロロプロペン（別名 D-D））

目 次

1. 登録番号 13488：ディ・トラペックス油剤 （メチルイソチオシアネート 20.0 %・D-D 40.0 %油剤）	2
2. 登録番号 20749：カヤクダブルストッパー （クロルピクリン 35.0 %・D-D 60.0 %くん蒸剤）	6
3. 登録番号 22029：旭 D-D、 登録番号 22030：D-D （D-D 97.0 %剤）	8
4. 登録番号 22031：DC 油剤 （D-D 97.0 %剤）	11
5. 登録番号 22032：テロン （D-D 97.0%剤）	14
6. 登録番号 22162：ソイリーン、 登録番号 22163：三井ソイリーン （クロルピクリン 41.5 %・D-D 54.5 %くん蒸剤）	17

1. 登録番号 13488 : ディ・トラペックス油剤

(メチルイソチオシアネート 20.0 %・D-D 40.0 %油剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	メチルイソチオ シアネートを含む 農薬の総 使用回数	D-Dを含 む農薬 の総使 用回数
しょう が	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 21日前 まで	1回	圃場を耕起・整地した 後、所定量を深さ 約 12~15 cmに注入 し、直ちに覆土・鎮 圧する。 薬剤処理7~14日 後 にガス抜き作業を行 う。	1回	1回
	根茎腐敗病 立枯病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
ごぼう	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種の21日 前まで				
	萎凋病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
ねぎ わけぎ あさつき	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 14 日前 まで				
	根腐萎凋病	40 L/10 a					
	萎凋病 黒腐菌核病 白絹病 一年生雑草	30~40 L/10a					
たまね ぎ	センチュウ類	20~30 L/10 a	植付の30日 前まで				
	黒腐菌核病	30 L/10 a					
	乾腐病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
ふき	センチュウ類	20~30 L/10 a	植付の30日 前まで				
	半身萎凋病 一年生雑草	30 L/10 a					
トマト ミニトマト	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 21 日前 まで				
	半身萎凋病	30 L/10 a					
	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	40 L/10 a					
	萎凋病 根腐萎凋病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
だい こん	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 21 日前 まで				
	根こぶ病 バクテリアシウム黒 点病	30 L/10 a					
	萎黄病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 14 日前 まで (砂質土)				
	根こぶ病 バクテリアシウム黒 点病	30 L/10 a					
	萎黄病 一年生雑草	30~40 L/10a					
				圃場を耕起・整地 した後、所定量を 深さ約12~15 cm に 注入し、直ちに 覆土・鎮圧する。 薬剤処理7日後に ガス抜き作業を行 う。			

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	メチルイソチオン ネットを含む 農薬の総 使用回数	D-Dを含 む農薬 の総使 用回数
すいか	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 21日前まで	1回	圃場を耕起・整地し た後、所定量を深さ 約12~15 cmに注入 し、直ちに覆土・鎮 圧する。 薬剤処理7~14日後 にガス抜き作業を行 う。	1回	1回
	つる割病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
メロン	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 30日前まで				
	つる割病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
ほうれ んそう	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種の 30日前まで				
	バーティシウム萎 凋病	30 L/10 a					
	萎凋病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
	苗立枯病(ピシ ウム菌)	40 L/10 a					
かぶ	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種の 21日前まで				
	根こぶ病 バーティシウム黒 点病	30 L/10 a					
	萎黄病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
らっ き ょう	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 21日前まで				
	黒腐菌核病 根腐病 乾腐病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
にんに く	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 30日前まで				
	乾腐病 紅色根腐病 黒腐菌核病 一年生雑草	30 L/10 a					
キャベツ	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 21日前まで				
	バーティシウム萎 凋病	40 L/10 a					
	萎黄病 根こぶ病 菌核病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
はく さ い	センチュウ類	20~30 L/10 a					
	萎黄病 根こぶ病	30~40 L/10 a					
	黄化病	30 L/10 a					
	一年生雑草	30~40 L/10 a					

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	メチルソチオン ネットを含む 農薬の総 使用回数	D-Dを含む 農薬の総使 用回数
レタス 非結球レ タス	センチュウ類	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 21日前まで	1回	圃場を耕起・整地し た後、所定量を深さ 約 12~15 cmに注入 し、直ちに覆土・鎮 圧する。 薬剤処理7~14日後 にガス抜き作業を行 う。	1回	1回
	バーティシリウム萎 凋病	30 L/10 a					
	根腐病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
いちご	センチュウ類	20~30 L/10 a					
	疫病 萎凋病	30 L/10 a					
	萎黄病 炭疽病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
きゅう り	センチュウ類	20~30 L/10 a					
	つる割病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
にんじ ん	センチュウ類	20~30 L/10 a					
	萎凋病 しみ腐病 黒しみ病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
なす	センチュウ類	20~30 L/10 a					
	萎凋病 半枯病 半身萎凋病 一年生雑草	30 L/10 a					
こんに ゃく	センチュウ類	20~30 L/10 a					
	乾腐病 根腐病 白絹病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
やまの いも	センチュウ類	20~30 L/10 a					
	褐色腐敗病 一年生雑草	30~40 L/10 a					
茶	センチュウ類	20~30 L/10 a					
	白紋羽病	30~40 L/10 a					
	苗根腐病	50 L/10 a					
	一年生雑草	30~40 L/10 a					
たばこ	センチュウ類 黒根病	20~30 L/10 a					
	立枯病 一年生雑草	30~40 L/10 a					

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	メチルイソチオシア ネートを含む 農薬の総 使用回数	D-Dを含 む農薬 の総使 用回数												
きく	センチュウ類(ハカ ^レ レ センチュウを除く)	20~30 L/10 a	は種又は 植付の 21日前まで	1回	圃場を耕起・整地し た後、所定量を深さ 約 12~15 cmに注入 し、直ちに覆土・鎮 圧する。 薬剤処理7~14日後 にガス抜き作業を行 う。	1回	1回												
	半身萎凋病 萎凋病 一年生雑草	30~40 L/10 a																	
カーネーション	センチュウ類	20~30 L/10 a						は種又は 植付の 21日前まで	1回	圃場を耕起・整地し た後、所定量を深さ 約 12~15 cmに注入 し、直ちに覆土・鎮 圧する。 薬剤処理7~14日後 にガス抜き作業を行 う。	1回	1回							
	萎凋病 萎凋細菌病 一年生雑草	30~40 L/10 a																	
花き類・ 観 葉 植 物(カーネー ション、きく を除く)	センチュウ類	20~30 L/10 a											は種又は 植付の 21日前まで	1回	圃場を耕起・整地し た後、所定量を深さ 約 12~15 cmに注入 し、直ちに覆土・鎮 圧する。 薬剤処理7~14日後 にガス抜き作業を行 う。	1回	1回		
	半身萎凋病	30 L/10 a																	
	萎凋病(フザ ^リ リウ ム菌) 萎黄病(フザ ^リ リウ ム菌) 球根腐敗病(フザ ^リ リウム菌) 苗立枯病(フザ ^リ リウム菌) 尻腐病(フザ ^リ リウ ム菌) 腐敗病 乾腐病 萎縮病 一年生雑草	30~40 L/10 a																	
	つつじ 類	イシクセンチュウ 一年生雑草																30 L/10 a	植付の 21日前まで

2. 登録番号 20749 : カヤクダブルストッパー

(クロルピクリン 35.0 %・D-D 60.0 %くん蒸剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	クロルピクリンを含む農薬の 総使用回数	D-D を 含む農薬 の総使用 回数
かぶ だいこん	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ 萎黄病	30 L/10 a (1 穴当り 3 mL)	作付の 10~15 日前 まで	1回	土壌くん蒸(30×30 cm ごとの深さ15 cmの穴 に1穴処理する)	1回	1回
こまつな						2回以内 (床土1回 以内)	
セルリー						3回以内 (床土1回 以内、 圃場2回 以内)	
かんしょ	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ 立枯病 つる割病					1回	
オクラ	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ 立枯病						
なす	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ 半身萎凋病 青枯病 半枯病					2回以内 (床土1回 以内)	
トマト ミニトマト	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ 萎凋病 根腐萎凋病					3回以内 (床土1回 以内、 圃場2回 以内)	
ピーマン	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ 青枯病 萎凋病						
とうがらし類 ねぎ	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ 萎凋病						
ほうれん そう						2回以内 (床土1回 以内)	
いちご	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ 炭疽病 萎黄病					3回以内 (床土1回 以内、 圃場2回 以内)	
きゅうり すいか	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ						
にがうり	ネコブセンチュウ つる割病						

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	コロビ [®] クリンを 含む農薬の 総使用回数	D-D を 含む農薬 の総使用 回数
にんじん	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ しみ腐病 萎凋病 黒しみ病	30 L/10 a (1穴当り 3 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	土壌くん蒸(30×30 cm ごとの深さ15 cmの穴 に1穴処理する)	1回	1回
メロン	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ つる割病 黒点根腐病 えそ斑点病					2回以内 (床土1回 以内、 圃場1回 以内)	
しょうが	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ 立枯病 根茎腐敗病					2回以内 (床土1回 以内)	
みょうが (花穂) みょうが (茎葉)	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ						
かぼちゃ はくさい							
レタス 非結球レタ ス	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ 根腐病					1回	
ばれいし よ	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ そうか病 萎凋病						
やまのい も	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ 褐色腐敗病					2回以内 (床土1回 以内)	
ごぼう	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ 黒あざ病 萎凋病						
こんにゃ く さといも	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ 乾腐病					1回	
きく	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ 萎凋病 半身萎凋病					3回以内 (床土1回 以内、 圃場2回以 内)	
花き類・ 観葉植物 (きくを除く)	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブセンチュウ 萎黄病(フザ [®] リウム菌) 萎凋病(フザ [®] リウム菌) 株枯病(フザ [®] リウム菌) 乾腐病(フザ [®] リウム菌) 球根腐敗病(フザ [®] リウム 菌) 立枯病(フザ [®] リウム菌) 葉枯病(フザ [®] リウム菌) 腐敗病(フザ [®] リウム菌)						

3. 登録番号 22029 : 旭 D-D、
登録番号 22030 : D-D
(D-D 97.0 %剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	D-Dを含む農薬 の総使用 回数
ブロッコリー カリフラワー	テンサイシストセンチュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。	
はくさい ほうれんそう キャベツ						
レタス 非結球レタス 非結球あぶらな 科葉菜類 せり科葉菜類 きゅうり すいか いちご トマト ミニトマト メロン かぼちゃ なす ピーマン とうがらし類 まくわうり だいこん はつかだいこん にんじん かぶ ごぼう てんさい こんにゃく さといも らっかせい しょうが やまのいも みょうが(花穂) みょうが(茎葉) しそ しそ(花穂) バジル うど 薬用にんじん 食用ぎく オクラ にがうり もりあざみ らっきょう	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼 虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)	作付の 10~15日 前まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	1回

作物名	適用 病虫害名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	D-Dを含む農薬 の総使用 回数
みしまさいこ さやいんげん にら つるむらさき	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
ねぎ					ネダニ類	
うり類(漬物用)	センチュウ類 コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)			1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。	
えだまめ だいず	ダイズシストセン チュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)			1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。	
豆類(未成熟、た だし、えだまめ、 さやいんげんを 除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)			2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	
ばれいしょ	ジャガ イモシスト センチュウ	30~40 L/10 a (1穴当り 3~4 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土し、ポリエチレン、ビニール等 で被覆する。	
	青枯病 そうか病				全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し、直ちに 覆土鎮圧する。	
		ジャガ イモシロシ ストセンチュウ			40 L/10 a (1穴当り 4 mL)	

作物名	適用 病虫害名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	D-Dを含む農薬 の総使用 回数
かんしょ	ネコブセンチュウ	15~30 L/10 a (1穴当り 1.5~3 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
	ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼 虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)				
茶	ネコブセンチュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し、直ちに 覆土鎮圧する。	
花き類・観葉植 物(きくを除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼 虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)			1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	
きく	ネグサレセンチュウ	30~40 L/10 a (1穴当り 3~4 mL)				
	ネコブセンチュウ コガネムシ類幼 虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)				
樹木類	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼 虫		植付の 10~15日前 まで			
すぎ(は種床) すぎ(床替床) ひのき(は種床) ひのき(床替床)	イシクセンチュウ ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼 虫		作付の 10~15日前 まで			
たばこ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)	作付の 30日前 まで	1)全面処理 耕起整地後、30 cm×30 cm 間隔で地表面から深さ15 cmに所定量の薬液を注入 し、直ちに注入口をふさ ぎ、鎮圧する。		
		4~6 L/10 a (1穴当り 1.3~2 mL)	作付の 30~45日前 まで	2)畦内処理 植付前、畦立・畦面被覆後 に、植付予定位置の深さ 15~20 cmに所定量の薬液 を注入し、直ちに覆土鎮圧 する。但し、ガス抜きは行わ ないこと。		

4. 登録番号 22031 : DC 油剤
(D-D 97.0 %剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	D-Dを含む農薬 の総使用 回数
レタス 非結球レタス しそ しそ(花穂) バジル きゅうり すいか いちご トマト ミニトマト メロン かぼちゃ なす ピーマン とうがらし類 okra まくわうり にがうり だいこん はつかだいこん にんじん かぶ ごぼう もりあざみ うど 薬用ニンジン てんさい こんにやく さといも らっかせい しょうが やまのいも みょうが(花穂) みょうが(茎葉) らっきょう 食用ぎく みしまさいこ さやいんげん にら つるむらさき 非結球あぶらな 科葉菜類 せり科葉菜類	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
はくさい ほうれんそう キャベツ	テンサイストセンチュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。	

作物名	適用 病虫害名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	D-Dを含む農薬 の総使用 回数
ねぎ	ネコブセンチュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の碁盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。	1回
樹木類	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼 虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)	植付の 10~15日前 まで		1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の碁盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	
うり類(漬物用)	センチュウ類 コガネムシ類幼 虫					
だいず えだまめ	ダイズシストセン チュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)				
豆類(未成熟、た だし、えだまめ、 さやいんげんを 除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)				
かんしょ	ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼 虫		作付の 10~15日前 まで			
	ネコブセンチュウ	15~30 L/10 a (1穴当り 1.5~3 mL)				
花き類・観葉植 物(きくを除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼 虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)				
きく	ネコブセンチュウ コガネムシ類幼 虫					
	ネグサレセンチュウ	15~40 L/10 a (1穴当り 1.5~4 mL)				
すぎ(は種床) ひのき(は種床) すぎ(床替床) ひのき(床替床)	イシクセンチュウ ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼 虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)				

作物名	適用 病虫害名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	D-Dを含む農薬 の総使用 回数		
ばれいしょ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	1回		
	ジャガイモシスト センチュウ	30~40 L/10 a (1穴当り 3~4 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土し、ポリエチレン、ビニール等 で被覆する。			
	青枯病 そうか病				全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土し、ポリエチレン、ビニール等 で被覆する。			
	ジャガイモシロシ ストセンチュウ	40 L/10 a (1穴当り 4 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し、直ち に覆土鎮圧する。			
たばこ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)	作付の 30日前 まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、30 cm×30 cm 間隔で地表面から深さ15 cmに所定量の薬液を注入 し、直ちに注入口をふさ ぎ、鎮圧する。	1回		
		4~6 L/10 a (1穴当り 1.3~2 mL)	作付の 30~45日前 まで		2)畦内処理 植付前、畦立・畦面被覆後 に、植付予定位置の深さ 15~20 cmに所定量の薬液 を注入し、直ちに覆土鎮圧 する。但し、ガス抜きは行わ ないこと。			
茶	ネコブセンチュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)	作付の 10~15日前 まで		1回		全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し、直ちに 覆土鎮圧する。	1回
ブロッコリー カリフラワー	テンサイシストセン チュウ						全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し、直ちに 覆土鎮圧する。	

5. 登録番号 22032 : テロン
(D-D 97.0%剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	D-Dを含む農薬 の総使用 回数
ブロッコリー カリフラワー	テンサイストセンチュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。	
はくさい ほうれんそう キャベツ						
レタス 非結球レタス 非結球あぶらな 科葉菜類 せり科葉菜類 きゅうり すいか いちご トマト ミニトマト メロン かぼちゃ なす ピーマン とうがらし類 まくわうり だいこん はつかだいこん にんじん かぶ ごぼう てんさい こんにゃく さといも らっかせい しょうが やまのいも みょうが(花穂) みょうが(茎葉) しそ しそ(花穂) バジル うど 薬用にんじん 食用ぎく オクラ にがうり もりあざみ らっきょう みしまさいこ さやいんげん にら つるむらさき	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼 虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	1回

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	D-Dを含む農薬 の総使用回数	
ねぎ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。	1回	
	ネダニ類	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。		
うり類(漬物用)	センチュウ類 コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)			1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらか じめ予定された溝に30 cm 間隔に所定量の薬液を注 入し直ちに覆土鎮圧する。		
だいず えだまめ	ダイズシストセン チュウ	20 L/10 a (1穴当り 2 mL)					
豆類(未成熟、た だし、えだまめ、 さやいんげんを 除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	15~20 L/10 a (1穴当り 1.5~2 mL)					
ばれいしょ	ジャガイモシスト センチュウ	30~40 L/10 a (1穴当り 3~4 mL)					全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し直ちに 覆土し、ポリエチレン、ビ ニール等で被覆する。
	青枯病 そうか病						全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し、直ちに 覆土鎮圧する。
		ジャガイモシロシ ストセンチュウ			40 L/10 a (1穴当り 4 mL)		全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間 隔の基盤の目に切り千鳥 状に深さ15~20 cmに所定 量の薬液を注入し、直ちに 覆土鎮圧する。

作物名	適用 病虫害名	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	D-Dを含む農薬 の総使用回数
かんしょ	ネコブセンチュウ	15~30 L/10 a (1穴当り1.5~3 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の 畧盤の目に切り千鳥状に深さ15~20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
	ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り1.5~2 mL)				
茶	ネコブセンチュウ	20 L/10 a (1穴当り2 mL)			全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の畧盤の目に切り千鳥状に深さ15~20 cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。	
花き類・観葉植物(きくを除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り1.5~2 mL)			1)全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の畧盤の目に切り千鳥状に深さ15~20 cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2)作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30 cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	
きく	ネグサレセンチュウ	15~40 L/10 a (1穴当り1.5~4 mL)				
	ネコブセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20 L/10 a (1穴当り1.5~2 mL)				
樹木類	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫		植付の 10~15日前 まで			
すぎ(は種床) すぎ(床替床) ひのき(は種床) ひのき(床替床)	イシユクセンチュウ ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫		作付の 10~15日前 まで			
たばこ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	20 L/10 a (1穴当り2 mL)	作付の 30日前 まで	1)全面処理 耕起整地後、30 cm×30 cm間隔で地表面から深さ15 cmに所定量の薬液を注入し、直ちに注入口をふさぎ、鎮圧する。		
		4~6 L/10 a (1穴当り1.3~2 mL)	作付の 30~45日前 まで	2)畦内処理 植付前、畦立・畦面被覆後に、植付予定位置の深さ15~20 cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。但し、ガス抜きは行わないこと。		

6. 登録番号 22162 : ソイリーン、
登録番号 22163 : 三井ソイリーン
(クロルピクリン 41.5 %・D-D 54.5 %くん蒸剤)

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	クルピクリンを含む農薬の 総使用回数	D-D を 含む農薬 の総使用 回数
にんじん	しみ腐病	30 L/10 a (1穴当り 3 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	耕起整地後、30 cm間 隔のストリ状に深さ約 15 cmに所定量を注入 し、直ちに覆土し、ポ リエチレン、ビニール等で被 覆する。	1回	1回
ごぼう	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20~30 mL/10 a (1穴当り 2~3 mL)				2回以内 (床土1回 以内)	
	黒あざ病	30 L/10 a (1穴当り 3 mL)				3回以内 (床土1回 以内、 圃場2回 以内)	
すいか	つる割病 黒点根腐病					20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)	
さやいんげ ん	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	1回					
メロン	黒点根腐病 えそ斑点病 つる割病	30 L/10 a (1穴当り 3 mL)				2回以内 (床土1回 以内、 圃場1回 以内)	
	だいこん					バーティシウム黒 点病	
はくさい	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	30 L/10 a (1穴当り 3 mL)				2回以内 (床土1回 以内、 圃場1回 以内)	
	キャベツ					苗立枯病(リゾ クトニア菌)	
未成熟そら まめ	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)				2回以内 (床土1回 以内)	
なす	青枯病	30 L/10 a (1穴当り 3 mL)				3回以内 (床土1回 以内、 圃場2回 以内)	
トマト ミニトマト	萎凋病 ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)					
	青枯病	30 L/10 a (1穴当り 3mL)					
きゅうり	つる割病 ホモフシス根腐病	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)					

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロビ・クリンを含む農薬の総使用回数	D-Dを含む農薬の総使用回数
ピーマン とうがらし類	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20~30 L/10 a (1穴当たり 2~3 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	耕起整地後、30 cm間隔のトリ状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)	1回
	青枯病	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)				1回	
かぼちゃ	立枯病	20~30 L/10 a (1穴当たり 2~3 mL)				2回以内 (床土1回以内)	
こまつな	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ					1回	
レタス かぶ	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ						
豆類(未成熟、ただし、 さやいんげん、未成熟 そらまめ、さやえんどう、 実えんどうを除く)							
ほうれんそう						萎凋病	
ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ							
しょうが	根茎腐敗病	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)				1回	
ばれいしょ	そうか病 青枯病	20~30 L/10 a (1穴当たり 2~3 mL)					
	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ						
かんしょ	立枯病	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)					
	さといも	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ					
やまものいも	根腐病 褐色腐敗病	30 L/10 a (1穴当たり3 mL)					
	炭疽病	20~30 L/10 a (1穴当たり 2~3 mL)					
いちご	萎黄病					3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)	
	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ						

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	クロビ [®] クリンを 含む農薬の 総使用回数	D-D を 含む農薬 の総使用 回数
こんにゃく	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブ [®] センチュウ	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	耕起整地後、30 cm間 隔のフドリ状に深さ約 15 cmに所定量を注入 し、直ちに覆土し、ポ リエチレン、ビニール等で被 覆する。	1回	1回
ねぎ	根腐病	30 L/10 a (1穴当り 3 mL)				3回以内 (床土1回 以内、 圃場2回 以内)	
	白絹病						
さやえんどう 実えんどう みょうが (花穂) みょうが (茎葉) にがうり 葉しょうが	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブ [®] センチュウ	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)				2回以内 (床土1回 以内)	
オクラ	苗立枯病	30 L/10 a (1穴当り 3 mL)				1回	
パセリ	立枯病						
セルリー	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブ [®] センチュウ	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)					
	萎黄病	30 L/10 a (1穴当り 3 mL)					
きく	半身萎凋病						
	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブ [®] センチュウ	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)					
ストック	萎凋病	30 L/10 a (1穴当り 3 mL)					
	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブ [®] センチュウ	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)				3回以内 (床土1回 以内、 圃場2回 以内)	
チューリップ [®]	球根腐敗病	30 L/10 a (1穴当り 3 mL)					
	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブ [®] センチュウ	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)					
カーネーション	萎凋細菌病	30 L/10 a (1穴当り 3 mL)					
	ネグ [®] サレセンチュウ ネコブ [®] センチュウ	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)					

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クルビ°クリンを含む農薬の総使用回数	D-D を含む農薬の総使用回数
トルコギキョウ	根腐病 立枯病	30 L/10 a (1穴当り 3 mL)	作付の 10~15日前 まで	1回	耕起整地後、30 cm間隔のフタリ状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	3回以内 (床土1回以内、圃場2回以内)	1回
花き類・観葉植物(ストック、チューリップ、きく、カーネーション、トルコギキョウを除く)	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)					
たばこ	ネコブセンチュウ 立枯病	(畦内土壌注入) 1 穴 当 り 2~3mL	作付の 30日前 まで		(畦内土壌注入) 畦立後、畦中央の頂上から、30 cm間隔で、35 cmの深さに所定量を注入し、直ちに注入口をふさぎ、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	1回	

作物名	適用雑草名	使用時期	使用液量	本剤の使用回数	使用方法	クルビ°クリンを含む農薬の総使用回数	D-D を含む農薬の総使用回数
にんじん だいこん はくさい かぼちゃ ばれいし よ かんしょ さといも やまのいも こんにゃく オクラ パセリ 豆類(未成熟、ただし、さやいんげん、未成熟そらまめ、さやえんどう、実えんどうを除く)	一年生 雑草	作付の10~15日 前まで	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)	1回	耕起整地後、30 cm間隔のフタリ状に深さ約15 cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。	1回	1回

作物名	適用 雑草名	使用 時期	使用液量	本剤の 使用 回数	使用方法	クロビ [®] グリン を含む 農薬の総 使用回数	D-D を 含む農薬 の総使用 回数
ごぼう なす ほうれん そう しょうが みょうが (花穂) みょうが (茎葉) にがうり 葉しょう が さやえん どう 実えん とう	一年生 雑草	作付の10~15日 前まで	20~30 L/10 a (1穴当り 2~3 mL)	1回	耕起整地後、30 cm間隔のストリ状 に深さ約15 cmに 所定量を注入し、 直ちに覆土し、ポ リエチレン、ビニール等で 被覆する。	2回以内 (床土1回 以内)	1回
すいか トマト ミトマト きゅうり ピーマン とうがら し類 いちご ねぎ セルリー さやいん げん 花き類・観 葉植物						3回以内 (床土1回 以内、 圃場2回 以内)	
メロン キャベツ 未成熟そ らまめ						2回以内 (床土1回 以内、 圃場1回 以内)	